

2022 年 1 月 22 日 (土)

竜ヶ岳 (1,485 m)

～Report by 高橋(雄)～

本栖湖畔にある竜ヶ岳は、10 年前の 2012 年、辰年の干支にちなんで初登りで登っていた。その時の山頂から  
拝んだ富士山の雄姿よ、もう一度・・・ということで、今回の山行となった。

参加者は熊本さん、半澤さん、池戸さん、吉松さん、田上さん、私（高橋雄）の 6 名。



7:15 バスタ新宿から山中湖行き的高速バスで熊本さん・吉松さん・田上さんが出発。私はそのバスに途中の中央高速道の日野バス停から乗り込んだ。一路河口湖駅へ。

半澤さんは厚木から 7:40 発のバス、池戸さんは横浜から 7:00 発のバスでそれぞれ河口湖駅に向かった。

今回は全員がバスだ。3 台とも河口湖着の予定時刻は 9:00。



快晴で、各々のバスの車窓からも富士山が綺麗に見える。



新宿組のバスは定刻の 9:00 河口湖駅着。その少し前に半澤さん、池戸さんも到着していた。遅れることなく全員無事合流できた。

トランクからザックを取り出し、歩いて 7 分ほどのトヨタレンタカーの営業所に向かった。



途中で見えた富士山。



トヨタレンタカーで 7 人乗りの WISH を借り、本栖湖へ向け 9:20 出発

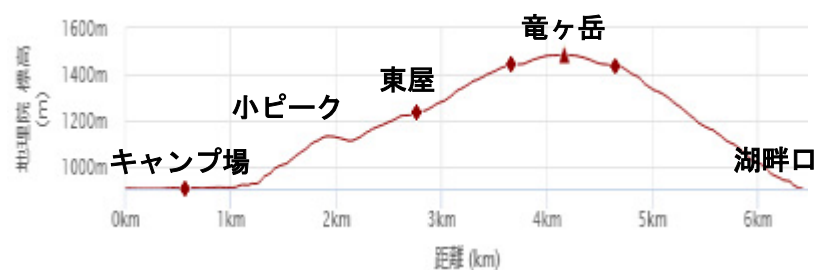


35 分ほどで 2012 年に車を駐車した本栖湖畔のキャンプ場についたが、閉鎖されていた。少し戻ってボート乗り場の駐車場に停めた。

準備を整えて  
10:05 スタート。



本日のコース。  
当初は下りもキャンプ場までのピストンを予定していたが、変化を求めて湖畔口に降りた。



キャンプ場は標高 910m。  
竜ヶ岳山頂は 1,485m で、高低差は 575m。





正面の山が目指す竜ヶ岳。  
左手が前回車を停めたキャンプ場の駐車場。



10:16 キャンプ場の「竜ヶ岳登山道入口→」  
の標識で改めてスタートの集合写真。



平坦な林の中の道を 10 分ほど進み、



10:27 竜ヶ岳登山道入口から登り始めた。



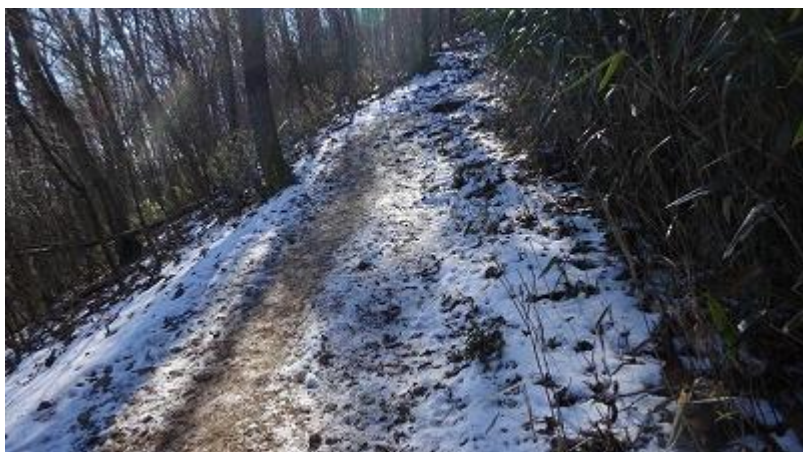




急斜面をジグザグに登っていく。



10:50 暑くなって上着を脱いだ。



登山道は、下の土は凍結しており、所々雪が残っていたが、アイゼンをつけるほどではない。



11:08 小ピークに到着。





木立の合間から富士山が見えた。



小ピークからちょっと下り、また登りとなる。

登山道は林を抜け、笹原の中を進む。  
もはや視界で富士山を遮るものはない。  
が、雲が湧いてきた。

右下に見える白い部分は富士芝桜会場。



富士芝桜は、5月中旬ごろが見ごろ。

<https://www.shibazakura.jp/>

クマさん会では [2009年5月9日](#) に寄って、  
そのあと精進湖のパノラマ台に登っている。



さらに登ると前方に東屋が見えてきた。





11:39 東屋到着。  
しかし東屋は改築中だった。

東屋で休むことはできなかったが、雲がかかりはじめた富士山がまだ見えているうちに・・と集合写真を1枚。



小休止してさらに山頂を目指す。  
またしばらく急斜面をジグザグに登る。  
熊本さんを先頭にゆっくり進む。





登山道でところどころ陽の当る場所は霜融けでドロドロにぬかるんでいる。

しんがりは半澤さん。  
ペースはさらにゆっくり。  
コロナ対応で山はしばらくご無沙汰だったため、体力が落ちていてまだリハビリ中だとか。  
後続の登山者に先を譲る。



急斜面を登り切り、湖畔口への分岐を過ぎると道はなだらかになるが、雪が残っていた。しかしアイゼンはずけずに慎重に進む。



12:40 先行の熊本さん、池戸さん、吉松さん、田上さんの4名が竜ヶ岳山頂着。

すばらしい360度の大パノラマが待ち受けていた！！西～北西方向は南アルプスの山並み。



赤石岳 東岳 塩見岳 農鳥岳 北岳 観音岳

振り返ると富士山。いつの間にか中腹にかかっていた雲が消えている！右手に遠く霞む駿河湾～右端は雨ヶ岳



富士山

駿河湾

毛無山 雨ヶ岳





12:53 半澤さんと私も遅れて山頂着。  
全員そろったところでワインで乾杯。  
昼食タイム。

昼食後、富士山をバックに登頂写真を撮った。



13:30 下山開始。北斜面の湖畔口に下ること  
にしたので、急斜面・雪で凍結していること  
に備え、全員アイゼンを装着した。



13:38 湖畔口への分岐。ここからは北方向が良く見える。左手の八ヶ岳～中央の黒岳・三つ峠～右手の富士山。



八ヶ岳 茅ヶ岳 金峰山 甲武信ヶ岳 鬼ヶ岳 黒岳 三つ峠  
足和田山





湖畔口へのルートは林の合間から本栖湖が見える。



案の定、雪が残っていて、凍結した急坂だ。アイゼンを効かせて慎重に下る。



急斜面のジグザグ道をしばらく下る。  
かなり足に負担がかかる。  
半澤さんは最初は順調だったが、だんだんペースダウンしてきた。  
「ゆっくり降りるから先にどうぞ」とのこと  
で、みんな先に進む。  
私は半澤さんが気になって、時々止まり、半澤さんを待ってはまた下りることを繰り返していた。

先行組も何度が待っていてくれたが、半澤さんのペースがますます遅くなってきて、ついに私と半澤さんが先行組に追いつけなくなってしまった。半澤さんが止まっている回数と時間が長くなってきた。苦しそうである。聞くと右のふとももが痙攣しているとのこと。

GPSマップの現在位置を見て、湖畔口まであと200mぐらいまでのところで、私は湖畔口まで先に下りて助けを呼ぶことにして、先に進んだ。私のスマホはGPSのバッテリー節約のために機内モードにしていたが、途中で先行組と連絡を取ろうと、機内モードを解除した。すると、そのタイミングで吉松さんから電話が入ってきた。先行組は下山しているとのこと。私は半澤さんが動けなくなっている状況を伝え、さらに湖畔口に向かった。そして、ほどなく湖畔口に着いた。

が、先行組はそこにいなかった！他の登山者も誰もいない。「熊本さ～ん、吉松さ～ん、どこですか～？」と大声で繰り返し叫んだが応答がない。さらに吉松さんに電話もした。が、出ない！

（あとからわかったことだが、先行組は下山道で案内板がなく、まぎらわしい分岐から、湖畔口とは別の下山口に下りたようだ。私からの情報で、吉松さん、池戸さん、田上さんはそこから空身で引き返して登り、幸いにも半澤さんに会え、半澤さんのザックを担いだり、池戸さんが持っていた脚吊り対策用の薬を飲ませたりドタバタしている最中だったようだ）

もう先行組がどこにいるかわからず、先行組をあてにできそうもないと私は判断し、しかたがないので119番



に電話して救助を依頼した。救急指令室はすぐに出てくれたので、現在場所や、半澤さんの症状を説明。すると場所の目印を聞かれ、周りの建物の看板を見に行き伝えて、半澤さんは意識はあるか？年齢は？ワクチンは何回打ってるか？私と半澤さんとの関係は？スマホのバッテリーの残量は？登山ルートは？湖畔口から半澤さんのところまで誘導できるか？とかいろいろ聞かれ、またそれを再確認されたりして結構長いこと話していた。救急指令室との電話が終わったら、吉松さんから電話が入ってきた。半澤さんと会って、今半澤さんも歩いて湖畔口に向かっているとのこと。あわてて救急指令室に電話し、仲間と自力で下山しているから救助不要と伝えたが、時すでに遅し。ピ〜ポ〜という音が聞こえ、救急車が来てしまった・・・。



半澤さんは脚吊り対策用の薬を飲んで回復したことを救急隊員に説明し、救急車にお引き取りいただいた。(15:35)

私はその間にレンタカーを持ってくるべく駐車場に向かった。



私が駐車場からレンタカーを持ってくるのを湖畔口で待っていると寒いので、皆さんは駐車場に向かって歩き出した。



富士山が頭を出していた。

駐車場から湖畔口にレンタカーを回す途中で皆さんをピックアップし、そのままレンタカーの営業所へ直行。



16:35 レンタカーを返し、河口湖駅へ。





河口湖駅への途中で見た暮れなずむ富士山。



河口湖駅で帰りのバスを待つ御一行様。

予定した帰りのバスには余裕で間に合った。

河口湖駅発のバスは

17:00 の横浜行きで池戸さん

17:10 の新宿行きで熊本さん、吉松さん、田上さん、私

17:30 の厚木行きで半澤さん

と、それぞれが帰途につきました。

ドタバタがありましたが、結果全員無事で、竜ヶ岳山頂からの大パノラマと、朝から夕刻までの富士山の雄姿を十二分に堪能できた一日でした。お疲れさまでした。

#### 【追伸】

今後の山行では、なるべく全員一緒に行動すべきで、もし離れる場合はお互いに電話で連絡が取れるよう、実際に電話をかけてみて通じることを確認してから離れるべき。

また、ヤマレコ、ヤママップなどのスマホの登山アプリを活用して自分の位置が意図したコースから外れていないかどうか判断できるように、皆さんもなっているといいな・・と思いました。